

studio monitor & communication system

M04

MANUAL

SER. NO. _____

con:is:is

この度は、「**M04**」をお買い上げいただきましてありがとうございました。

M04は「3系統入力切替」「2系統出力切替」「プレイヤーへのコミュニケーション」「ヘッドフォンモニター」を行う事ができる、モニターコントローラーです。

コンパクトかつスリムな**M04**は、ホームレコーディングのクオリティを高めるスーパーアイテムです。
また「SMS8101」や「SMS2702」、「M03」の高音質モニターシステムの音質、品質、性能も受け継いでいます。



製品をより安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。

内容物 -ご使用前に内容物をご確認ください-

- ・ **M04** 本体
- ・ 製品マニュアル 及び 保証書(本書)

万が一、内容物に欠品がある場合は弊社までご連絡ください。

—— 製品マニュアル目次 ——

1 ページ ……	はじめに・内容物の確認
2、3 ページ ..	使用上の御注意
4～6 ページ ..	機能説明(フロントパネル)
7 ページ ……	機能説明(リアパネル)
8 ページ ……	接続例
9 ページ ……	ブロックダイアグラム
10 ページ …	製品仕様・保証書



ご注意

本機のTRSフォン・コネクタについて

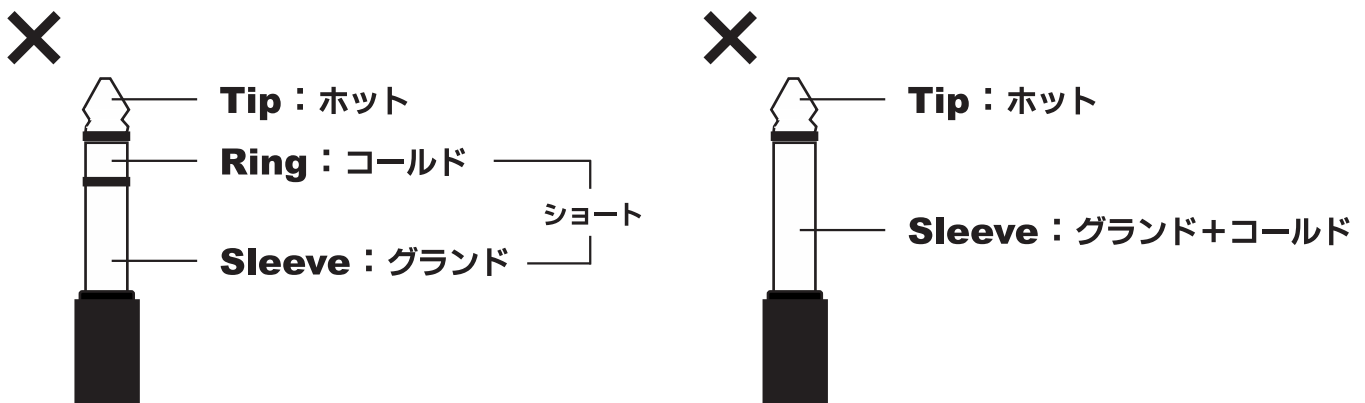
本機のTRSフォン・バランス入出力コネクタは、
Tipがホット、Ringがコールド、Sleeveがグランドとなっています。
基本的には、本機のTRSフォン・コネクタにはTRSフォン・ケーブルで
バランス入出力の機器を接続して下さい。

特に“**studio**” output、“**monitor a**” output とアンバランス入力の機器を接続する場合、
必ず、コールドとグランドがオープン（繋がっていない）であるケーブルをお使い下さい。
もし、コールドとグランドがショート（繋がっている）されている場合、
本機が故障しますのでご注意下さい。

“**a**” “**b**” input はコールドとグランドがショートしているケーブルを
接続しても故障しません。

“**ex. fb. sw**” はTS（2P）フォン・アンバランス入力です。
TRSフォンのケーブルを接続しても故障しません。

“studio” output と“monitor a” output での故障となる接続





ご注意

システム保護について

御使用のシステムに電源を投入する際は、必ず入力ソース機器、本機、パワースピーカーやパワーアンプの順に電源を投入するよう心がけて下さい。また御使用後はこの逆の順番でお切りください。入出力の切り替え時は極力パワーアンプ側のボリュームを抑え、スピーカーの負担軽減につとめて下さい。

ACコンセントへの接続について

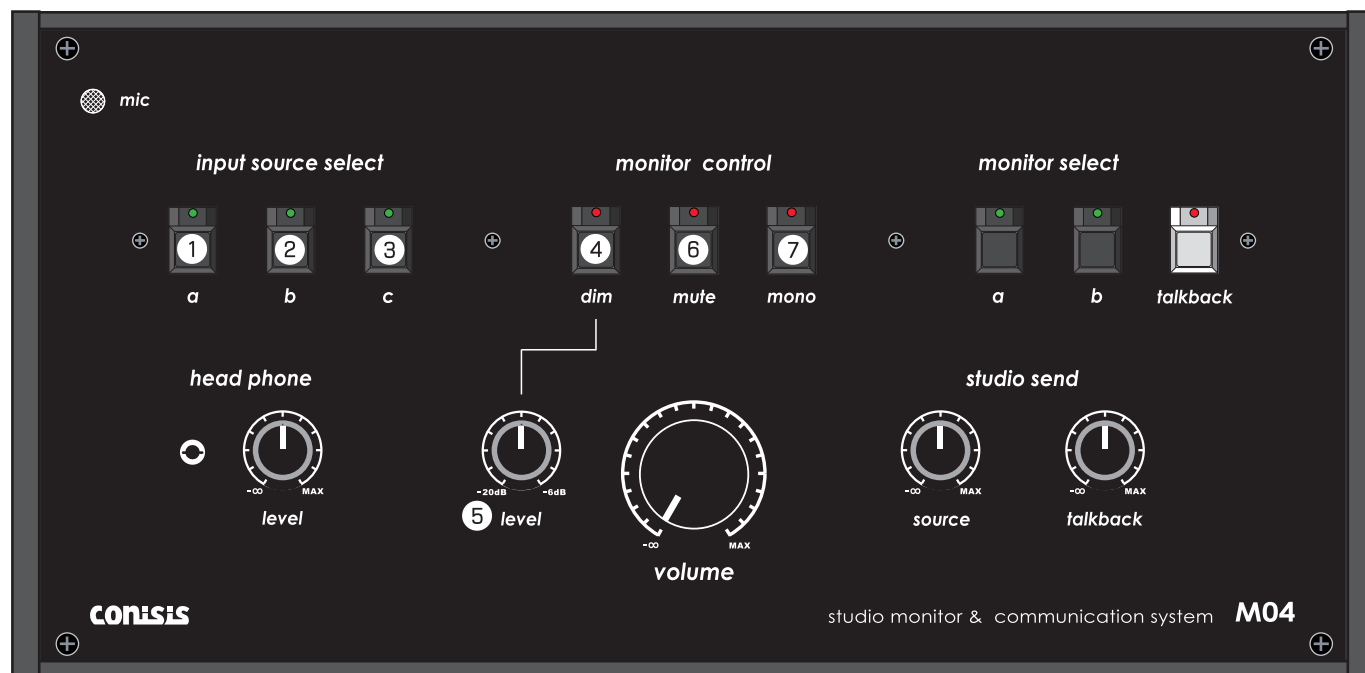
本機はAC100Vもしくは117V仕様です。それ以上での電圧で使用すると機器が故障するばかりか、非常に危険ですので絶対におやめ下さい。また長期間ご使用ならない時は安全の為、必ずACプラグをコンセントから抜いて下さい。

お手入れについて

本機が汚れた場合、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で優しく拭いて下さい。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので絶対に使用しないで下さい。

機能説明

フロントパネル

**input source select**

2系統のバランスと1系統のアンバランスの合計3系統のステレオ入力選択を行います。複数の「入力選択ボタン」を同時に選択する事により、「a」に入れたものと「b」入れたものを同時に出力する事も可能です。

- ① "a" input
a (ステレオ・バランス インプット)に接続された信号を選択します。
- ② "b" input
b (ステレオ・バランス インプット)に接続された信号を選択します。
- ③ "c" input
c (ステレオ・アンバランス インプット)に接続された信号を選択します。

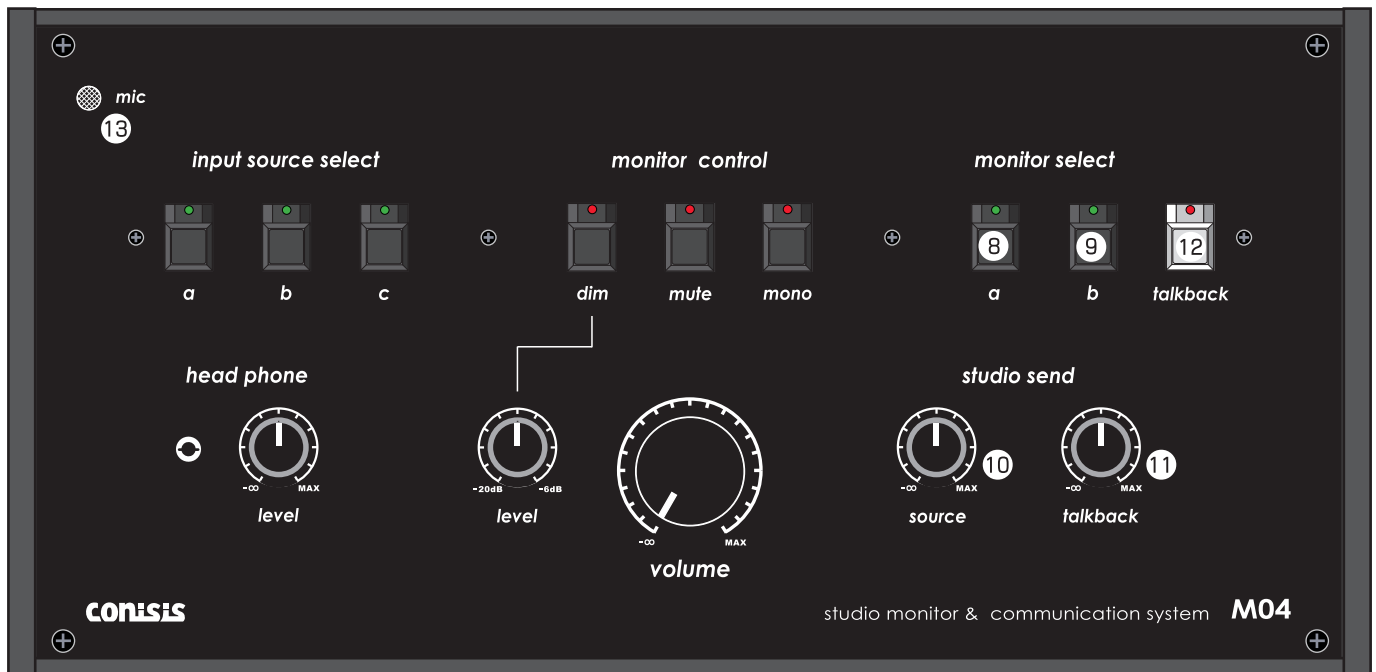
monitor control

スピーカーなどのモニターに「MONO」、「MUTE」、「DIM」の操作を行います。DIMレベルも調整できます。

- ④ "dim"
monitor a、b アウトプットの信号は ⑤ のトリムで調整したレベルに減衰して出力されます。talkback スイッチを押した時も動作します。(studio sendには影響がありません。)
- ⑤ "dim level" 可変範囲: -20 ~ -6dB
dimスイッチを押した時に、monitor a、b アウトプットに出力される信号をどれくらい減衰させるかを調整するレベルトリムです。
- ⑥ "mute"
monitor a、b アウトプットの信号をミュート(カット)します。
- ⑦ "mono"
入力されたステレオ信号は、monitor a、b のアウトプットの直前でモノラル信号にまとめられます。左右の入力信号は合計され、モノラル信号として左右2つのアウトプットから出力されます。ステレオ信号がモノラルシステムで再生された場合に起こり得る位相のトラブルチェックに役立ちます。

機能説明

フロントパネル

**monitor select**

1系統のバランスと1系統のアンバランスの合計2系統のステレオ・モニター出力選択を行います。

8 "a"

現在選択している入力ソースが、**monitor a** アウトプット(ステレオ・バランス)に出力されます。

9 "b"

現在選択している入力ソースが、**monitor b** アウトプット(ステレオ・アンバランス)に出力されます。

studio send

M04からブースに送る、トークバックと入ソースのレベル調整を行います。
studio アウトプット(ステレオ・バランス)に出力されます。

10 "source"

ブースに送る、入力ソースのレベルを調整します。

11 "talkback"

ブースに送る、トークバックのレベルを調整します。

12 "talkback" switch

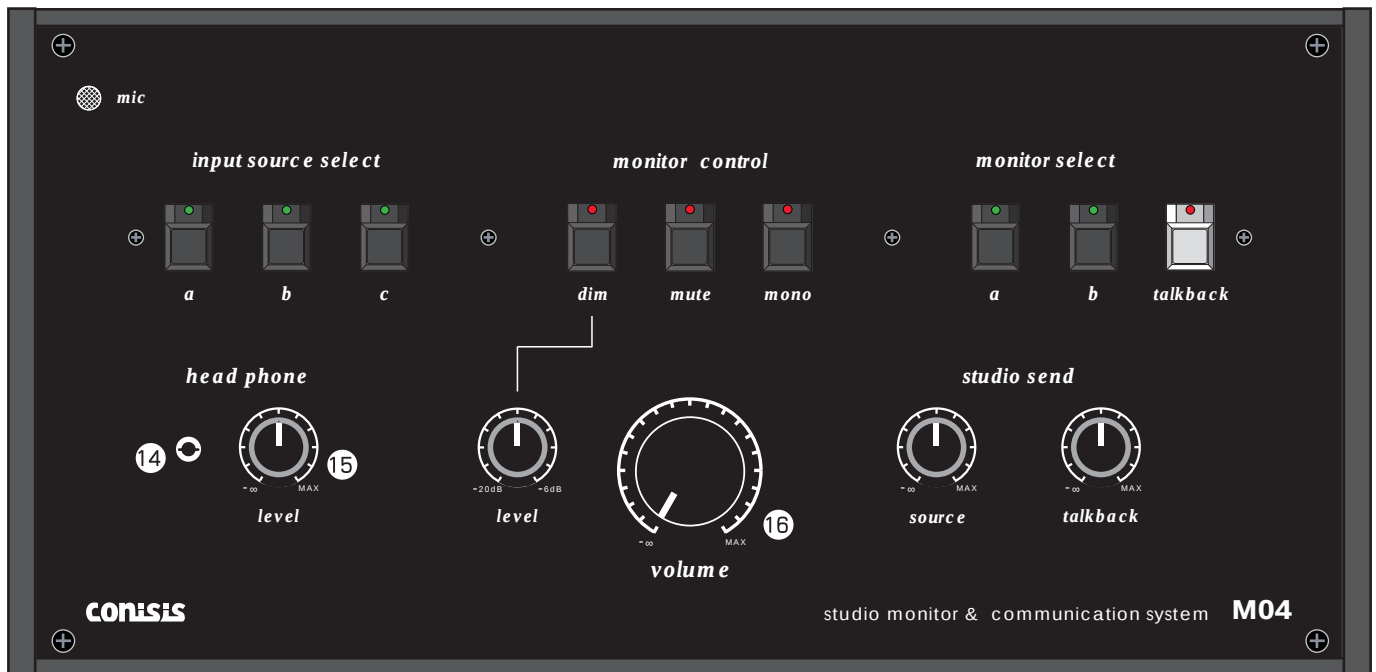
このスイッチを押している間、M04からのトークバックがブースに送られます。
また押した状態で、**monitor a, b** アウトプットにはDimがかかります。
※**studio** アウトプットにはDimかかりません。

13 "talkback" mic

内蔵の高感度エレクトレット・コンデンサマイクにより、ブースに明瞭なトークバックを送る事ができます

機能説明

フロントパネル

**head phone**

*volume*ノブからの影響はありません。

14 connector

ヘッドフォンを接続するコネクタです。(3.5φ ステレオ・ミニジャック)

15 "level"

ヘッドフォンレベルを調整するトリムです。必ずトリムを下げた状態からレベルを調整して下さい。トリムを上げすぎますと耳を痛めます。ご注意ください。

16 volume

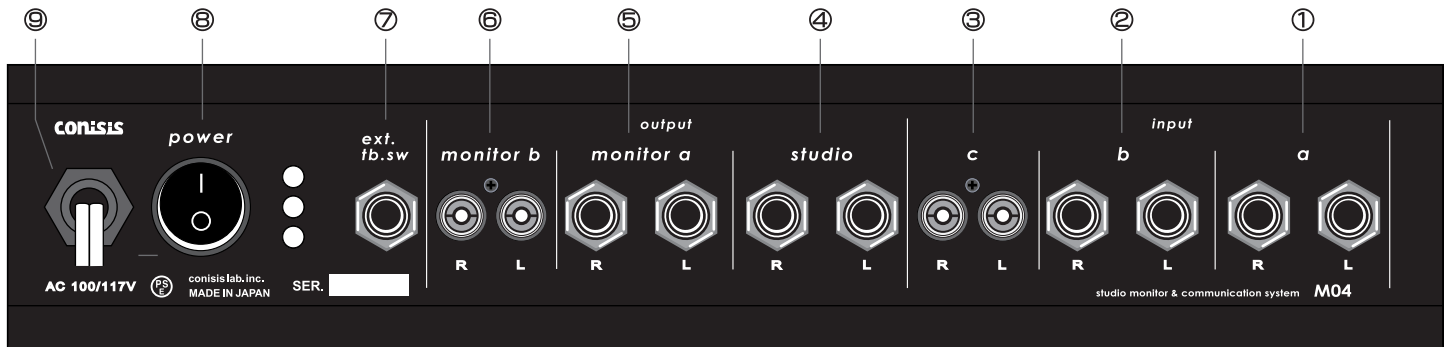
選択した入力を、選択したモニター出力に送る、ボリュームを調整します。

この*volume*ノブによってコントロールされるのは、*monitor a*、*b*アウトプットです。

studio send、*head phone* には影響しません。

機能説明

リアパネル

① **"a" input**

TRS PHONE、バランスのステレオ・インプットです。DAWアウトプットなどを接続します。

② **"b" input**

TRS PHONE、バランスのステレオ・インプットです。CDプレーヤーなどを接続します。

③ **"c" input**

RCA、アンバランスのステレオ・インプットです。+10dBのゲインを取りますので、出力の低い民生機器などを接続すると便利です。尚、+4dBu出力の機器を接続しても問題ございません。

④ **"studio" output (studio send)**

TRS PHONE、バランスのステレオ・アウトプットです。スタジオに、トークバックや選択した入力ソースを送ります。スタジオ・コミュニケーション セクションの出力です。

⑤ **"monitor a" output**

TRS PHONE、バランスのステレオ・アウトプットです。外部の1組目のスピーカーを接続します。パワードモニター、あるいはパッシブスピーカーを駆動するパワーアンプに接続します。

⑥ **"monitor b" output**

TRS PHONE、バランスのステレオ・アウトプットです。外部の2組目のスピーカーを接続します。パワードモニター、あるいはパッシブスピーカーを駆動するパワーアンプ、ラジカセなどに接続します。

⑦ **"ext. tb. sw" (external talkback switch)**

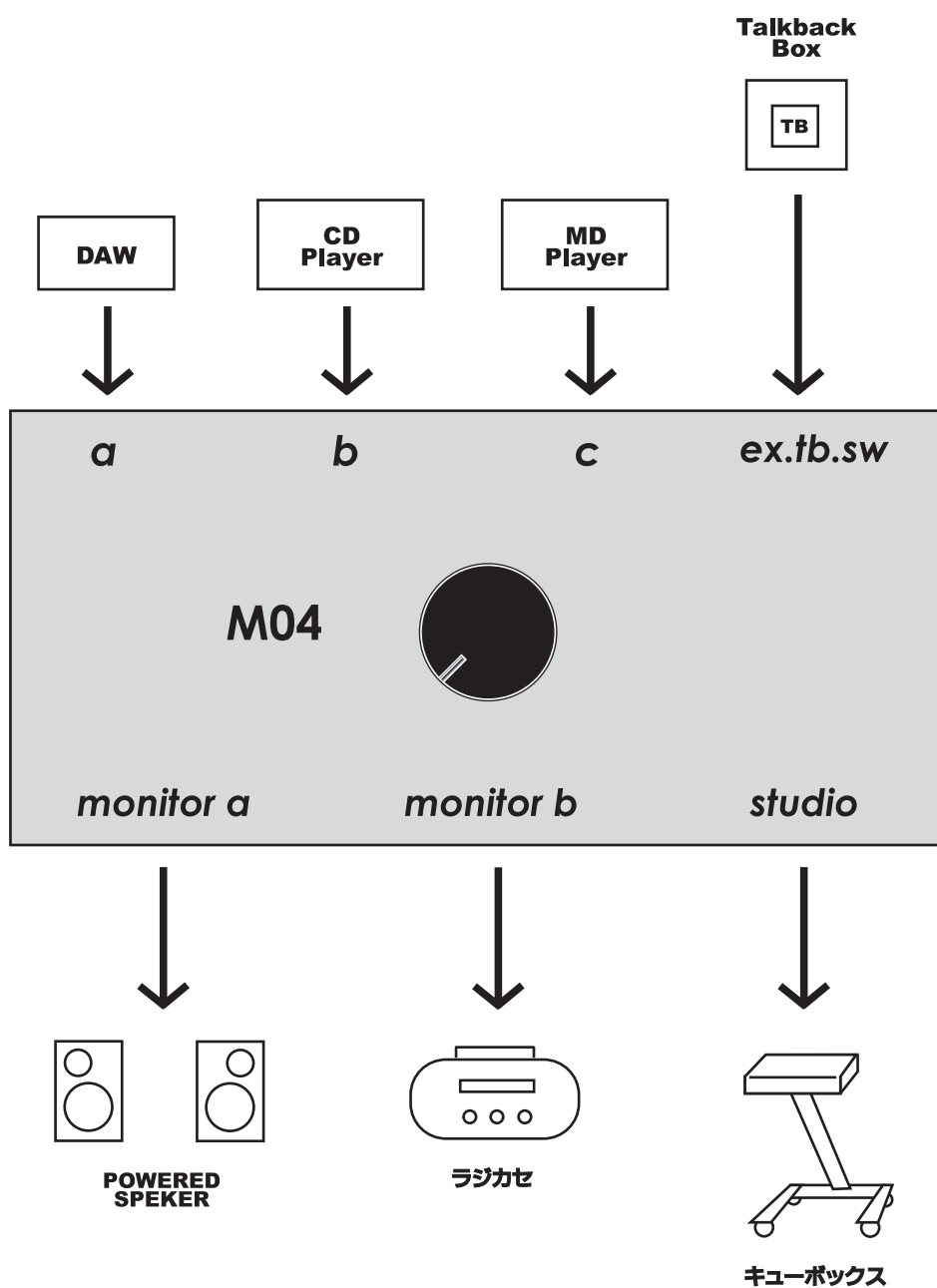
2P PHONE (TS PHONE)、アンバランス。トークバック・ボックスやフットスイッチを接続して、トークバックをリモート操作できます。

⑧ **"power"**

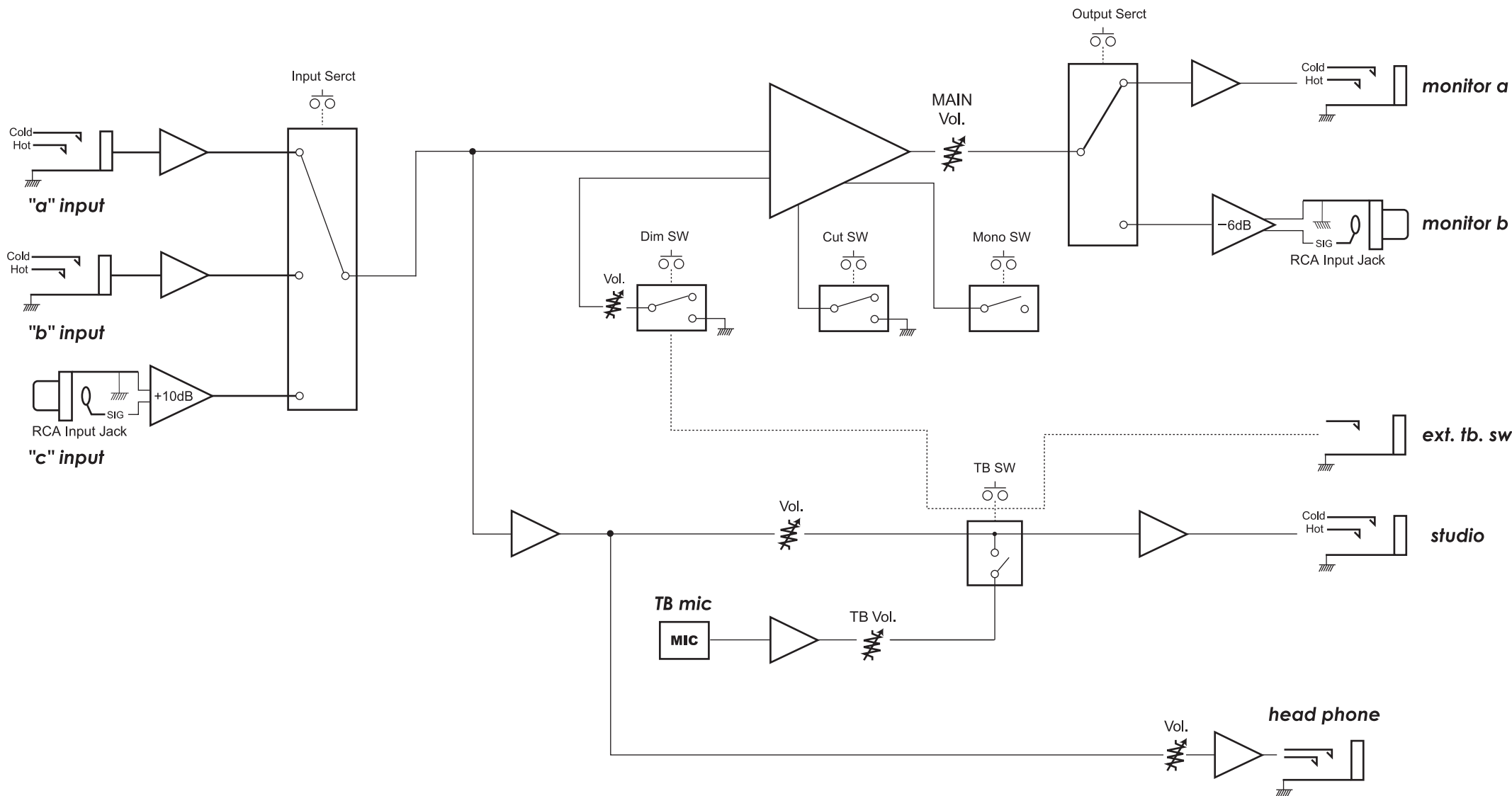
電源のON/OFFを行うスイッチです。

⑨ **AC cable**

100Vまたは117Vのコンセントに接続して下さい。規定電圧以外で使用すると故障の原因となりますので、ご注意下さい。

M04 接続例

M04 Block Diagram



製品仕様

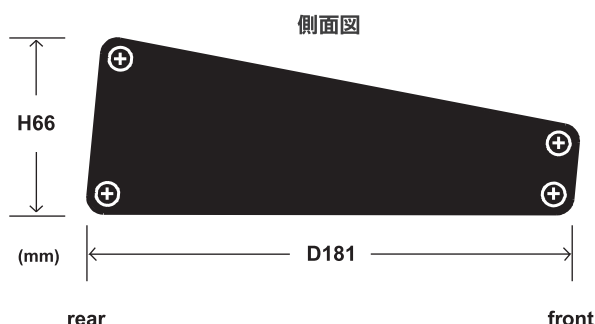
入力	
入力数	3系統(ステレオ) * 同時複数選択可能
入力端子	TRSフォン(バランス):2系統 RCAピン(アンバランス):1系統
入力レベル	基準: +4dBu 最大: +27dBu(バランス) 最大: +18dBu(アンバランス)
入力インピーダンス	20K Ω (バランス) 48K Ω (アンバランス)

その他の入力	
入力	Ex. Talkback Switch
入力端子	TSフォン(アンバランス)

モニター出力	
出力数	2系統(ステレオ) * 切り替え
モニター出力端子	TRSフォン(バランス):1系統 RCAピン(アンバランス):1系統
出力レベル	基準: +4dBu 最大: +27dBu(バランス) 最大: +21dBu(アンバランス)
出力インピーダンス	1K Ω 以上(バランス) 1K Ω 以上(アンバランス) *推奨接続インピーダンス 10K Ω 以上

その他の出力	
出力	スタジオセンド:1系統(ステレオ) ヘッドフォン出力:1系統(ステレオ)
スタジオセンド端子	TRSフォン(バランス)
出力インピーダンス (スタジオセンド)	1K Ω 以上(バランス)
ヘッドフォン出力端子	3.5 ϕ ステレオ・ミニジャック

性能、サイズ	
周波数特性	5Hz-100KHz
外形寸法(突起部を除く)	W350×D181×H66
重量	1.7Kg
電源	AC100-117V 50/60Hz
消費電力	10W
付属品	保証書、ACケーブル



保証

本機が出荷日より1年以内に故障が発生した場合には、無料にて修理を行う事を約束致します。その場合、出荷日が明記された本書自体が保証書となります。この保証は日本国内においてのみ有効です。

保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。

- 1、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- 2、お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
- 3、火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)異常電圧、指定外の使用電源等による故障及び損傷
- 4、車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- 5、本書の提示がない場合
- 6、本書に出荷日が記入されていない場合、或いはこの字句を書き換えられた場合
- 7、本書に販売店印が押されていない場合
- 8、本書のナンバー(SER.NO.)と機器本体のナンバーが一致しない場合
- 9、遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

MODEL	M04
SERIAL No.	
出荷年月日	年 月 日
販売店名	

2011 07 08